



## 太陽光発電を環境保全の動力に

### 「NPO法人ひまわりの種」の会

札幌の冬の風物詩、ホワイ  
トイルミネーション。その大  
通公園会場に、二年前から、  
市民の手づくりによる四メー  
トルほどのツリーが一本加わ  
りました。光源は、二酸化炭  
素の排出量が少ない「太陽光  
発電」。昼間に蓄えた自然エ  
ネルギーで、夜の街に色とり  
どりの光をともします。

このアイデアを具体化した  
のは、NPO法人「ひまわり  
の種」の会（会員二十六人）  
の皆さんです。平成十一年に  
発足した同会は、環境保全と  
いう大きな課題に対し、誰も  
が気軽に参加できる取り組み  
を提案しています。「子供と一  
緒におもちのソーラーカー

みんなで手を携え、支え合い、ぬくもりのある街にしていきたい。そんな思いを胸に、地域でグループで、生き生きと活動続ける人たちがいます。

作りに挑戦したとき、この仕  
組みをイルミネーションに応  
用できないかと思いつきまし  
た」と話すのは、発案者でも  
ある会長の新保さん。  
ゼロからのスタートに悪戦苦  
闘しながらも、自然エネルギ  
ーに詳しい有識者などの支援  
を受けて、画期的なイルミネ  
ーションツリーを実現しまし  
た。

これを契機に、より実用化  
へ向けた試みにも弾みがつき  
ます。平成十三年七月には、  
西区の平和幼稚園と協力し  
て、園内にソーラーパネルを  
設置。電力は、池の水を巡回  
させる動力などに利用されて  
います。

このように精力的な活動を  
繰り返している中、目下、同会が  
力を注いでいるのが『てるて  
るプロジェクト』。これは、  
円山動物園内の動物科学館の  
屋上に、四十枚（面積三十八  
平方メートル）のソーラーパ  
ネルを設置しようというもの  
です。これが実現すると、一  
日で約五キロワットの発電が  
可能に。年間では、約1.8トン  
の二酸化炭素量の削減に加  
え、約五万円の節電が見込  
まれます。「子供から大人まで  
幅広い年齢層が訪れる場所に  
設置することで、たくさんの方

人に地球環境のことを考えて  
もらうきっかけになれば」と  
新保さんは切に願っています。  
この取り組みをより多くの  
皆さんに知ってもらうととも  
に、活動の窓口も広げよう  
と、パネル設置にかかる費用  
を広く市民から募ることに。  
現在、来年九月の設置に向け  
て、一万人の参加者を目標に  
広く呼び掛けを行っていま  
す。「みんなの力が大きな原動  
力となります。環境保全のた  
めに何かをしたいと思ってい  
る方は多いはず。ぜひご参加  
ください」。



写真上：「ひまわりの種」の皆さん(右から二人目が新保さん)。  
写真右：エルプラザ(中央区北8西3)オープンイベントで、小型のイルミネーションツリーを展示し、会の活動をPR。

てるてるプロジェクトに参加したい方や、同会に興味のある方は下記へお問い合わせください。ホームページ <http://homepage2.nifty.com/pockets/himawari/himawaritop.htm>  
連絡先 新保 ☎ 684-7651、Eメール [rose-q@nifty.com](mailto:rose-q@nifty.com)

## 広告欄